

IV. 普及・公開活動の記録

令和2年度 埋蔵文化財展

愛知県埋蔵文化財センターでは、遺跡の発掘調査により発見された資料を広く公開するとともに、歴史講座や体験プログラムなどの企画を通じて、県民の埋蔵文化財に対する理解を深め、文化財保護意識の向上を図ることを目的とした埋蔵文化財展を行っている。

2020年度は、春に新出土品展を行った。また、秋には愛知県陶磁器美術館と共催して愛知県陶磁器美術館で特別展として「YAYOI・モダンデザイン」を開催した。

春の埋蔵文化財展

1 会場：愛知県埋蔵文化財調査センター

2 会期：令和2年4月1日（水）～4月10日（金）

3 開催趣旨：「やとみ新発見展（しんはっけんでん）！」と題して昨年度の発掘調査成果を中心に展示し、展示解説を実施。入館無料。

準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、臨時休館となり中止になった。しかし、展示入れ替えはおこなった。

4 内容

「やとみ新発見展！2020」2階収蔵庫Cにて

2020年度に本発掘調査Bを実施した10遺跡（白木遺跡、一色城跡、一色青海遺跡、朝日遺跡、清洲城下町遺跡、向田遺跡、亀塚遺跡、石原遺跡、上ヲロウ・下ヲロウ遺跡、万瀬遺跡）の出土遺物と写真パネルなどを展示。

「食と文化の考古学 煮炊きの道具の歴史」

2階収蔵庫Cにて展示

「食と文化の考古学 石の道具の歴史」

2階資料管理閲覧室にて展示。

配布資料として埋文展ニュース「埋文桜ニュース2020」を発行し、遺跡の概要説明と本年度イベント案内および愛知県埋蔵文化財調査センター春の特別公開の展示解説を掲載。

5 考古学縁日

令和2年4月4日（土）と4月5日（日）に弥富市社会教育センター（弥富市主催）で開催する「やとみ春まつり」に合わせて実施し、さまざまなワークショップを行う予定で事前準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止となった。

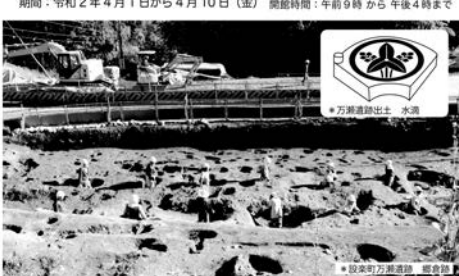
6 その他

「やとみ新発見展！2020」は、期間内には開催できなかったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、年度内まで展示期間を設け、人が密集しない形で展示入れ替えを行った。

令和2年度 **入場無料**

春の特別公開& やとみ新発見展⁰⁰2020

期間：令和2年4月1日から4月10日（金） 開館時間：午前9時から午後4時まで



● 桜木町万瀬遺跡 調査中 ●

縁日開催！4月4日・5日のみ！ 入場・参加無料！
4日：午後1時から午後4時まで 5日：午前9時から午後4時まで

つば釣のわなげ

発掘！
突起マスター

お宝
さかんさかん！
記念撮影

<<お問合せ先>>
愛知県埋蔵文化財調査センター 〒498-0017 弥富市前ヶ丘町野方 802-24 TEL：0567-67-4161
公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター
〒498-0017 弥富市前ヶ丘町野方 802-24 TEL：0567-67-4163

▲チラシ

埋文桜ニュース

2020年4月1日発行

埋文桜ニュースは、愛知県埋蔵文化財調査センターが発行する、遺跡の概要説明と本年度イベント案内および愛知県埋蔵文化財調査センター春の特別公開の展示解説を掲載するニュースです。

令和2年度の調査予定地



建物の考証

考古学セミナー

新設発掘低7

▲「埋文桜ニュース」

秋の埋蔵文化財展

1 展示名称

特別展「YAYOI・モダンデザインーニッポンの美、ここに始まるー」・同時開催「あいち考古楽市ー新発見の縄文/弥生資料ー」

2 会場：愛知県陶磁美術館 第1・第2展示室

3 会期

令和2年10月10日（土）～12月13日（日）

休館日：毎週月曜日（祝休日の場合は開館、翌平日休館）

開館時間：9時30分～17時（入場は16時30分まで）

4 主催

愛知県陶磁美術館・公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

5 共催 中日新聞社

6 内容

弥生時代を「美」と「デザイン」という視点から見直す。曲線的で複雑な縄文時代の美に対して、弥生時代の美は直線的で端正。そして機能がモノのかたちにとストレートに表現される「機能美」こそが弥生の美の最大の特徴であり、これが現代日本の美の系譜の出発点となっている。

本展覧会では、このような趣旨に則った主に西日本の主要な弥生時代遺跡から出土した土器・木器・金属器・骨角器を集めて、5つのコーナーに分けて160点の遺物を第1展示室に展示した。

さらに第Ⅲ章では、弥生王族の衣装、第Ⅴ章で

は青谷上寺地遺跡出土の漆塗り脚付壺の復元を行った。

第Ⅰ章「弥生デザインの精髓」

第Ⅱ章「素材の転換・かたちの強調」

第Ⅲ章「弥生の色彩」

第Ⅳ章「弥生絵画と造形のデザイン」

第Ⅴ章「首長から王へ 権威の象徴」

第2展示室の『あいち考古楽市』は

第1章「愛知の縄文晩期から弥生、古墳へ」

第2章「新出土品展」

として、県内資料60点を展示した。

7 ガイドブック

A4変形版96頁

8 関連行事

・記念対談「弥生の美を語る」

松木武彦氏・橋本麻里氏 126名

10月18日（日）午後1時30分～午後3時

・解説講座「弥生デザインを語る」樋上 昇

第1回11月14日（土）「弥生のかたち」75名

第2回11月28日（土）「弥生の紋様」65名

両日とも午後1時30分～午後3時

・『考古学セミナー』・『YAYOI バザール』

12月5日（土）午後1時～午後4時 161名

12月6日（日）午前10時30分～午後4時
200名

9 入館者数 4905名（56日間）

なおガイドブック販売数は400冊



▲第1展示室入口



▲チラシ



▲弥生王族の復元衣装

連続歴史講座「建物の考古学」

目的：当センターの事業を紹介し、埋蔵文化財の調査について理解を深めてもらう。

場所：愛知県埋蔵文化財センター 2階 研修室

時間：いずれも午前10時30分より開催。参加費は無料。

	日時	タイトル	講師	参加者数
第1回	8月22日	はじまりの“ムラ”-設楽町滝瀬遺跡-	早野浩二	16人
第2回	9月5日	弥生時代の建物と建築材	樋上 昇	17人
第3回	9月19日	礎石建物-古代寺院を中心に-	河嶋優輝	11人
第4回	10月3日	建物の変遷と屋敷の成立	鈴木正貴	11人

本年度の連続歴史講座は「建物の考古学」というテーマで8月から10月にかけて4回開催した。新型コロナウイルス感染防止対策のため、演台の前には飛まつ防止シートを設置し、参加者の皆さまにはマスクの着用、検温、アルコールによる手指の消毒の実施、ソーシャルディスタンスを保つため座席の間隔を空けて聴講をお願いした。専門性の高い内容だったものの、講師への熱心な質問などに参加者の積極的に学ぶ姿勢が感じられた。コロナ禍にも関わらず多くの方々にご参加をいただき、講座を実施することができた。



▲歴史講座の様子



はじまりの“ムラ”-設楽町滝瀬遺跡-

早野 浩二

キーワード：縄文時代早期・早期、竪穴建物（竪穴状遺構）、定住

- (1) 設楽町滝瀬遺跡の発掘調査
- ・北設楽郡設楽町八幡（中）に「字々々」に所在
 - ・縄文中期の前期文化と中期の前期文化の接点に立地（標高は42m・平成27・28・30年度、設楽ダム建設事業に伴い発掘調査）
 - ・主として、縄文時代早期から早期・中期、後期の遺構と跡
- (2) 縄文時代早期遺跡（竪穴建物）の発掘調査
- ・縄文時代早期遺跡（竪穴建物）の発掘調査
 - ・竪穴は1基を抽出。竪穴に重複する竪穴もある
 - ・竪穴は長軸5mから6m、短軸4m程度の中型、2mから3m程度の小型の竪穴、全体が細粒状土に埋め込まれ、竪穴の壁や底は土で覆われている
 - ・竪穴からは縄文時代早期遺跡（竪穴建物）の発掘調査
 - ・土器は約150点が出土。表裏無文系、黒文系が主、押型土器として、石罫・有石罫、磨石・磨石、石罫、石罫、石罫の表面に黒い土で覆われていた土器が主
 - ・竪穴の底面には良好に保存されていた土器が主

- (3) まとめ
- ・縄文時代早期の定住生活の様子をうかがうことができる

次回：9月5日（土）「弥生時代の建物と建築材」 樋上 昇

お問い合わせ 愛知県埋蔵文化財センター



弥生時代の建物と建築材

樋上 昇

キーワード：弥生時代、竪穴建物、建築材、竪穴周囲

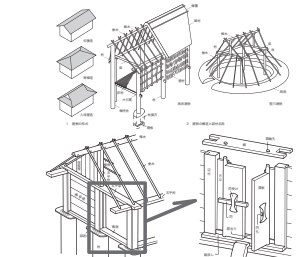


図1：建物の構造と基礎（竪穴、土間、土間）の断面図と平面図。土間の構造は、土間の構造と基礎の構造と一致している。

次回：9月19日（土）「礎石建物-古代寺院を中心に-」 河嶋優輝

お問い合わせ 愛知県埋蔵文化財センター



礎石建物-古代寺院を中心に-

河嶋 優輝

キーワード：飛鳥時代、礎石建物、古代寺院、瓦葺き、造営尺度



・講座内容

1. 礎石建物概説
2. 古代寺院概説
3. 古代寺院の造営尺度

一定義やそこに
一側面建物の構
造営尺度の研

次回：10月3日（土）「建物の変遷と屋敷の成立」 鈴木正貴

お問い合わせ 愛知県埋蔵文化財センター



建物の変遷と屋敷の成立

鈴木正貴

キーワード：竪穴建物から竪穴柱建物、区画溝、井戸

メインテーマ：人々が普通に用いた建物の変遷を考えると、考古学では建物の基礎構造しかわからない。かといって、残存する建物は限られている。

- 1 縄文時代早期から中期 竪穴建物が登場（初めての建物遺構）
- 2 縄文時代 柱が建物の基礎となる
- 3 弥生時代 竪穴柱建物（高床建物）が登場
- 4 古墳時代 竪穴柱建物（高床建物）が登場
- 5 古代 礎石建物と屋敷が伝来
- 6 中世から近世前半 礎石建物と屋敷が一般化
- 7 近世後半 礎石建物と屋敷が一般化

キーワード：建物の耐久性が向上

お問い合わせ 愛知県埋蔵文化財センター

▲歴史講座の資料

考古学体験ツアー2020秋

場所：愛知県埋蔵文化財調査センター

日時：11月7日(土) 10時から12時／午後1時から3時

対象：小・中学生とその保護者

参加人数：19名

今年度実施した考古学体験ツアー2020秋は、小・中学生とその保護者を対象として県調査センター企画「秋の特別公開」(11月4日から12日)の特別開館日(11月7日・8日)に合わせて実施した。

考古学体験ツアーは施設内の各所を案内しながら、クイズで質問に答えてもらう形式で行った。クイズのほかに、模擬古代弓矢の体験や、春の埋蔵文化財展イベントでお馴染みのつぼ釣りゲーム、県調査センターによる拓本体験のワークショップも好評であった。

考古学体験ツアー 2020 秋へようこそ！

本日は、愛知県埋蔵文化財調査センターへおこしいただきありがとうございます。これから、ふだん見学できないところをご案内しながら、考古学を少しだけ体験していただきます。館内でクイズを7つ出題しますので、お答えください。おかえりの時にステキなプレゼントをご用意しています。お楽しみに！

- Q1：稲沢市一色城跡から出土した甕と
おなじかたちの甕はどれでしょう？
A B C
- Q2：このなかで、黒曜石はどれでしょう？
A B C D
- Q3：この井戸杵は何焼でしょう？
A 瀬戸焼 B 常滑焼 C 備前焼
- Q4：イチヨウの葉っぱの形にみえるのは？
A プラント・ダイヤモンド
B プラント・サファイヤ
C プラント・オパール
- Q5：土器の底になんのスタンプがついてる？
A 葉っぱ B 木 C 糸
- Q6：木がくさらないように何をしみこませる？
A お湯 B PEG C P&G
- Q7：この木の種類は何？
A 広葉樹 B 針葉樹

▲クイズ問題用紙



▲Q1 見くらべてみよう似ているのはどれ？



▲Q5 土器の底に何のスタンプがついてる？



▲うまく飛ばせるかな？弓矢の体験



▲顕微鏡をのぞいてみよう

第9回 考古学セミナー「あいちの考古学2020」

概要： 考古学セミナー「あいちの考古学」は、愛知県内および近隣地域で活動する県・市町村教育委員会、公益財団法人、大学、特定非営利活動法人（NPO）、研究グループ、関連企業などが一堂に会して遺跡調査と考古学に関する研究成果を広く一般に公開し情報を共有することを目的に、平成24年度より開催している。今回は、秋の埋蔵文化財展会場の愛知県陶磁美術館で開催した。

今回は、秋の埋蔵文化財展「YAYOI・モダンデザイン」展にあわせて、開催内容を弥生時代に関するテーマとした。ポスターセッションについては、新型コロナ感染対策のため、対面式を中止し、参加団体も限って行った。また講堂前のホールでは、愛知県を中心に活動している考古学の同人誌交換会とあわせて、「YAYOIバザール」を開催し、20名の作家によるオリジナルの考古学関連グッズを展示販売した。

主 催：愛知県陶磁美術館・愛知県埋蔵文化財センター

日 時：12月5日（土）13時～16時

12月6日（日）10時30分～16時10分

会 場：愛知県陶磁美術館 講堂

参加者数：12月5日（土）161名、12月6日（日）200名 合計361名

配布資料：令和2年度考古学セミナー資料集『あいちの考古学2020』450部（無償配布）

【考古学セミナー日程】

◎1日目（12月5日）愛知県内の弥生遺跡発掘調査の成果

13:00～13:10 開会挨拶

13:10～13:40 豊橋市西側遺跡（豊橋市教育委員会 岩原剛）

13:40～14:10 東浦町天白遺跡（東浦町教育委員会 楠美代子）

14:10～14:40 東海市畑間遺跡（東海市教育委員会 早川由香里）

14:40～15:00 休憩

15:00～15:30 西尾市清水遺跡（西尾市教育委員会 浅岡優）

15:30～16:00 設楽ダム関連遺跡（愛知県埋蔵文化財センター 永井宏幸）

◎2日目（12月6日）記念講演・弥生サミット

10:30～12:00「弥生時代とは、何だったのか？」深澤芳樹（元・奈良文化財研究所副所長）

12:00～13:00 昼休憩

13:00～16:00 弥生サミット

13:00～13:30「鳥取県青谷上寺地遺跡」青谷上寺地遺跡整備室 北浦弘人

13:30～14:00「岡山市埋蔵文化財センター 扇崎由

14:00～14:20 休憩

14:20～14:50「石川県八日市地方遺跡」小松市埋蔵文化財センター 下濱貴子

14:50～15:10「愛知県朝日遺跡」あいち朝日遺跡ミュージアム 原田幹（当日欠席）

15:10～15:30 休憩

15:30～16:00 座談会

16:00～16:10 閉会挨拶

ポスターセッション関係

- 1 吉永亜紀子(総合研究大学院大学)「アカニシDe貝染め」
- 2 吉田真由美(鈴鹿市考古博物館)「伊勢国府跡」
- 3 清水麻里奈・相場伸彦・須賀永帰・方美樺(名古屋大学大学院人文学研究科)「2020年度豊田市伊保古瓦出土地(伊保白鳳寺)の発掘調査」
- 4 宮澤浩司(東海市教育委員会)「太佐山高射砲陣地跡」
- 5 愛知県埋蔵文化財センター「設楽ダム事業に伴う発掘調査2020」



▲受付



▲愛知県内の弥生遺跡調査報告



▲YAYOIバザール



▲記念講演 深澤芳樹氏



▲弥生サミット遺跡報告



▲弥生サミット座談会

